

=====**Q & A**=====

●統計調査員は何人必要？

それぞれの統計調査によって、調査員の人数は異なります。

代表的な統計調査のおおよその調査員数は、下表のとおりです。

国勢調査	390名程度	農林業センサス	60名程度
経済センサス-基礎調査	7名程度	経済センサス-活動調査	30名程度
就業構造基本調査	20名程度	住宅・土地統計調査	75名程度

●登録したら毎回調査員として活動しなければならない？

そのようなことはありません。

調査実施の1か月から3か月前に、事前に登録いただいている方の中から、調査地区・調査時期・調査内容を考慮し適任と思われる方に、調査員事務従事の可否を電話で確認いたします。調査への従事が可能であれば仕事を依頼します。

●勤務時間は？

あらかじめ定められた勤務時間はありません。

ほとんどの統計調査の調査員任命期間は約2ヶ月で、定められた調査日程（調査票配布期間は〇/〇～〇/〇、回収期間は〇/〇～〇/〇・・・など）に基づきそれぞれの事務を完了できるように、調査員個々のご都合にあわせてスケジュールを組む事ができます。しかし、調査対象世帯・事業所を訪問して行う調査票の配布や回収において、相手方の都合により複数回の訪問が必要になるなど、集中的に時間や労力を費やさなければならないこともあります。

●お給料はどのくらい？

統計調査の調査員報酬は、調査の種類・担当調査件数等により異なります。

おおよその目安として主な調査の前例を挙げますと、令和2年国勢調査1調査区担当調査員平均37,800円・2調査区担当調査員平均71,000円、令和2年農林業センサス調査員平均30,800円、平成30年住宅・土地統計調査員平均57,400円でした。



●パート勤務していても登録できる？

はい。調査活動に従事する時間があれば、お勤めをしている方でも登録できます。

任命期間中の調査員の身分は非常勤の公務員となりますが、業務の特殊性から、一般の公務員とは異なり営利企業等への従事制限はありません。ただし、調査活動中に営業活動や布教活動を行うことはできません。

●どんな統計調査があるの？

おもな調査は下表のとおりです。このほかにも、労働力調査・国民生活基礎調査・社会生活基本調査・毎月勤労統計調査など、さまざまな統計調査が行われています。

統計調査の種類	調査員数	任命期間	調査対象	実施周期	直近の調査実施年
国勢調査	390名程度	約2ヶ月	全世帯	5年	令和2年
農林業センサス	60名程度	約2ヶ月	全農林業経営体	5年	令和2年
経済センサス -基礎調査※注	7名程度	約2ヶ月	全事業所及び企業	5年	令和元年
経済センサス -活動調査	30名程度	約2ヶ月	全事業所及び企業	5年	令和3年
就業構造基本調査	20名程度	約2か月	抽出世帯	5年	平成29年
住宅・土地統計調査	75名程度	約2か月	抽出世帯	5年	平成30年
全国家計構造調査	4名程度	簡易調査 ：2ヶ月 基本調査 ：4か月	抽出世帯	5年	令和元年

※注：2019年（令和元年）調査はタブレット端末によるローリング調査を実施



● **新型コロナウイルス感染症への対策は？**

新型コロナウイルス感染症流行後，調査員が活動する調査として，令和 2 年国勢調査および令和 3 年経済センサス-活動調査を実施しました。

実施にあたりできるだけ調査対象の方と対面する機会を減らすため，インターホン越しの対応を推進するほか，調査への回答方法が調査票の郵送提出またはインターネット回答のみとなり調査員による調査票の回収がなくなるなど，調査方法が変更されました。

調査員の皆様へは，調査期間中の検温と健康観察をお願いするほか，令和 2 年国勢調査では衛生用品購入費の支給，令和 3 年経済センサス-活動調査ではマスクと消毒液を配布しました。

↓ **各統計調査に関する詳細はこちら** ↓

[いばらき統計情報ネットワークホームページ](#)

[総務省統計局ホームページ](#)